

ネイチャーセンターだより



2007/8・9



アジサシ

英名: Common Tern 学名: *Sterna hirundo*

この季節、春国岱の海岸沿いにヒラリヒラリと舞い飛ぶアジサシがやってきます。越冬地への渡りの途中、春国岱でも羽を休めていきます。

アジサシは、水中の魚を上空から探し、えものを見つけると上空から急降下して、刺すように水に突っ込み、魚をつかまえます。この行動が名前の由来にもなっています。

8
・
9
月
の
イ
ベ
ン
ト

第6回 タンチョウ フォトコンテスト 入賞作品展

フォトコンテストで入賞したタンチョウの写真20点を展示します。タンチョウの暮らしの一瞬を切りとった力作をぜひご覧ください。(無料)

日時:8月2日(木)~8月31日(金)

9:00~17:00

場所:ネイチャーセンター 1階

夏休み工作

クラフトコーナー 開催中!

自然の木や石などを使って、動物などの作品をコーナーにおいてある材料などを使って自分で作ります。

日時:8月2日(木)~8月31日(金)

9:00~17:00

場所:ネイチャーセンター 1階

イベント報告

風蓮湖・春国岱フィールド講座

もっと知ろう！ラムサール

7月8日(日)ネイチャーセンター2階視聴覚会議室にて、『風蓮湖・春国岱フィールド講座 もっと知ろう!ラムサール』を開催しました。釧路公立大学の小林聡史氏を招いて、ラムサール条約についての基礎知識から、条約において重要なワズユースの考え方や事例などについてお話をうかがいました。

ラムサール条約について初めて勉強をしにきたという方や今までとは違った視点の話が聞きたいという方などが参加してくださいました。講義中もざっくばらんに質問を受けてくださるなど、参加者の疑問に合わせたお話をうかがうことができました。

講座の後半は、実際に春国岱に出かけました。登録湿地の自然を観察しながらラムサール条約や登録湿地に関する知識を深めることができました。

参加者の方からは、「今までよくわからなかったラムサール条約がどのような条約なのか理解できた」「2回、3回とラムサールについての勉強会を開いてほしい」などといった感想をいただきました。



レンジャーの活動報告

春国岱原生野鳥公園では、野鳥や自然、環境について勉強をしたい小学校などの団体の方と一緒に環境学習活動を行っています。

活動の前にどのような学習をしたいのかなどをレンジャーと担当の方と話し合い、内容を決めています。参加されるみなさんから「たのしかったよ」「についてこんなことがわかったよ」と言ってもらえるようにいろいろな工夫をしています。自然について学んでみたい方はレンジャーにご相談ください。



フィールドボランティア

あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか？

～ フィールドボランティア募集中 ～

ラムサール条約登録湿地になった風蓮湖・春国岱で自然を守り、見つめる活動してみませんか？

ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。ご興味のある方はネイチャーセンターのレンジャーにお問い合わせください。

実際にどんな活動をしているのか見学してみたい方は、活動日をご案内いたしますので、お電話でお問い合わせください。電話 0153-25-3047)

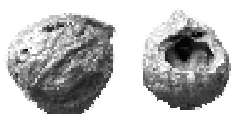
8・9月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。
 浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道が散策できます。
 センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



～小鳥の小道～

オニグルミ



小鳥の小道を歩いているとオニグルミの実やミズナラのドングリなどの木の实がたくさん落ちています。これらの木の实は鳥やリスなどの動物たちの大切な食べ物にもなっています。実の殻がいか

～ヒバリコース～

シギ・チドリの秋の渡り



干潮時には春国岱周辺に干潟があらわれます。この干潟で渡りの途中のシギやチドリの仲間を見ることができます。キョウジョシギ、ソリハシシギ、トウネン、エリマキシギ、オバシギ、タカブシギ、ヒバリシギ、ハマシギ、ムナグロ、メダイチドリなどたくさんの鳥たちが食事などを行っています。

～ハマナスコース～

エゾフウロ



高さ30～80cm、ピンク色の花が茎の先に2つずつ咲きます。春国岱の砂地を歩くと足元でやわらかい花びらが風にゆらされています。葉は深く5裂し、それぞれの裂片にさらに細かく切れ込みがあります。

～ヒバリコース～

秋を彩る草花



草原や湿地が黄色や紫の花で彩られます。湿地にはサワギキョウやエゾリンドウ、草原にはハマシオンが群生し、一面水色に染まります。9月の終わりにはアッケシソウが赤く色づきはじめます。その他ウンランやエゾオグルマ、ハマニガナなどの黄色い花も咲いています。

ネイチャーセンター日記

春国岱やネイチャーセンターの周辺、小鳥の小道などを歩いていると、巣立ったばかりの幼鳥や今年うまれた若鳥の姿を見かけるようになりました。親鳥についてたどどしく飛んでいる姿は愛らしくも頼もしくも感じられます。時々羽を振るわせて大きな口を開け甘えたように鳴いて、親鳥にエサをねだっている姿も見られます。この時期幼鳥は、親鳥と行動しながらエサのとり方や飛び方など生きのための智慧を学んでいきます。そんな様子を観察できるのは、この時期だけです。

また、若鳥や幼鳥は、成鳥とは羽の色が違い、独特の色合いをしています。「なんという鳥かな??」っと不思議に思うほどです。森や草原で育った小鳥たち、遠く北方で子育てを終え、渡ってきたシギやチドリの若鳥たちに出会うのが楽しみです。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式でご覧いただけます。

ホームページ: http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
電話 0153-25-3047 F A X 0153-25-8570
H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp

8・9月の開館時間
9:00~17:00
8・9月の休館日
8月1・8・15・22・29日
9月5・12・18・19・25・26日

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

2007.8 発行